

第1回 名寄市立大学在り方検討委員会

日時：令和6年12月26日（木） 18時00分～19:30

場所：名寄市役所 名寄庁舎4階大会議室

参加者：天野委員、家村委員、和泉委員、尾崎委員、木全委員、佐藤委員、
猿谷委員、清水池委員、竹澤委員

事務局：石橋総合政策部長、菊池大学特命課題参事

1 開 会

石橋総合政策部長より開会

2 委嘱状交付

令和8年3月31日までの任期で加藤市長より委嘱状交付

3 市長挨拶

委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきました。年度内で議論を尽くすことは難しいことから、令和7年度末までの任期としている。各分野の知識を有し活躍いただいている方々に様々なご意見・ご提言をいただければとありがたく思っている。名寄市立大学は、近郊の地域の方々の情熱により1960年に名寄女子短期大学として開学以来、名称変更・学科再編などを経て2006年に4年制大学化をした。その間、関係者の努力と国の制度改正のタイミングを的確に捉え大学運営をしてきた。本学は地域において必要とされる保健・医療・福祉分野の専門人材を養成し、地域課題の解決に貢献してきたが、少子化の進展により学生確保に向けて各大学間の競争も激しくなってくることが予想され、定員充足が厳しくなってくる可能性がある。この状況下で名寄市立大学が市民にとって価値あるものであり、今後も受験生から選ばれる大学として維持・発展していくために、ガバナンスの強化が急務であり、組織形態含めて検討する必要があることから名寄市立大学在り方検討委員会を設置した。積極的な議論をお願いしたい。

4 委員長・副委員長選出 [資料1]

委員長：清水池義治委員 副委員長：尾崎良雄委員

5 諮問 [資料2]

加藤市長より清水池委員長に諮問書を手交

6 議 事

（1）国の動向（高等教育）について [資料3]
事務局より説明

（2）名寄市立大学の概要について [資料4]
家村委員より説明

◆質疑

委員長 : 18歳人口の減少により充足率の低下が懸念されるが、定員数がそのままであれば、一律ではなく強い学科・苦戦する学科が出てくる。名寄市立大学の学科（保健医療福祉）はA Iやロボットに置き換えできない人材養成であり、今後も比較的強いと思う。この強みも活かしていくことが重要になる。

委員 : 学生確保に向けた現状の取組と今後の展開について、大学の認証評価について新聞報道があったが、取組状況について、以上2点についてお伺いしたい。

委員 : 大学パンフレットやファクトブックを持参し、道内及び一定の入学者がいる東北の高等学校に出向き、進路担当教員に説明をしてくれている。また、民間企業が主催する進学説明会にも参加をしている。本学の少人数指導や国家試験合格率などから高い評価をいただける学校もあり、引き続き行っていきたい。
また、新たな効果的な取組についても検討していきたい。大学の認証評価について、第三者機関の認証が必須であり、前回の指摘事項への対応含めて、次年度受験に向けて準備を進めている。

委員 : 大学充足率を議論する上で、現有する4学科を設置している他大学の受験倍率の経過など資料があれば準備してほしい。

事務局 : 持ち帰り検討したい。

委員 : 連携教育は名寄市立大学の独自の取組か？他大学でも取り組んでいるのであれば、他大学との違い・独自性・優位性など特徴を発信する必要がある。

委員 : 学科横断的な取組を行っている大学は多くあるが、地域がキャンパスの一部として、地域との協働を2年間学ぶ大学は珍しい。小さいからこそできることを強調していきたい。

委員 : 上川強みは公立4年制大学、農商工の高等学校、高等専門学校すべてが管内にあり、多様な人材育成を図ることができる地域である。このとで人材供給を一定程度できてきた。北海道としては、高等教育修了者を地域に定着させることが重要と考えており、大学と連携協定を締結して取組を行っている。その一環で大学生・高校生へのアンケート調査を実施し、データ収集・分析を行っている。一部資料を本委員会に共有することも検討したい。
2040年に向けて18歳人口減少・大学充足率低下が想定されているが、北海道の値より、道北の名寄市立大学は地理的面から、より厳しい状

況になる可能性がある。加えて旭川大学の公立化により更に厳しさを増す可能性もある。

しかし、名寄市にとって、大学生約800人は地域経済・人材として重要であることから、大学の維持・発展に必要な議論ができればと思う。

委員長：旭川大学の公立化の話もありました。今後議論を行うために、全国・全道の公立大学の状況について把握しておいた方がよいと思うので公立大学の概要などの資料を事務局にお願いしたい。

事務局：承知しました。

7 その他

事務局：次回は2月中旬に委員会を開催し、公立大学の概要や北海道内の公立大学の状況に加え、本日も意見をいただいた本学が設置している学科の他大学の受験倍率などについて資料を準備して議論を行いたい。

8 閉 会

清水池委員長より閉会

[会議資料]

- 資料1 名寄市立大学の在り方検討委員会設置要綱
- 資料2 諮問書
- 資料3 国の動向（高等教育）について
- 資料4 名寄市立大学の概要について